

検討の観点	内容の特色
1. 内容	<p>授業でやるべきことが明確な構成である。</p> <p>毎時間授業でやるべきことが明確な教科書紙面である。紙面に沿って進めれば、「コミュニケーション活動」と「文法指導」の両方がスムーズに行える。</p> <p>段階を踏みながら無理のない活動ができる。</p> <p>教科書全体が、大きく STAGE 1 と 2 に分かれた構成になっている。それぞれの STAGE は 5 つの活動（スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート、ライティング）から構成されており、STAGE 2 では STAGE 1 よりレベルアップした活動に取り組める。1 課の中では READY→GET→USE の段階を踏んだ流れの中で、無理なく活動が行える。</p> <p>習得から活用につながる文法シラバスがしかれている。</p> <p>課の Grammar Focus では、精選された文法項目が簡潔な説明と例文で示され、さらに確認問題と自己表現活動が用意されている。巻末付録の「表現のための文法」では、さらに多くの文法項目を扱い、入試に対応できる力を身に付けられる。</p> <p>意見や考えを出しやすいテーマ（題材）が選ばれている。</p> <p>日常生活、学校生活、生き方、旅行、科学、環境問題、芸術、社会活動、世界遺産、日本文化など、日常的な話題から社会的な話題へと、広い視点から生徒が自分の意見や考えを出しやすいテーマが選ばれている。</p> <p>豊富なサポート資料が用意されている。</p> <p>生徒の自立的学習を支える豊富な資料にアクセスできる二次元コードや、授業で使える多彩なワークシート、提示用パワーポイントなどで、活動的な授業がスムーズに行える。</p> <p>①多様化している生徒の実態を考慮し、質・量ともに充実している。</p> <p>②中学校までの体験や学習を踏まえ、中・高の接続が円滑に行える。</p> <p>③3つの領域別の言語活動および複数の領域を結びつけた統合的な言語活動を通して、「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」を中心とした発信能力の育成を強化し、特に論理的に表現する能力が育成できる構成・内容である。</p> <p>④教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、生徒たちにわかりやすく提示され、主体的・協働的な学びを促進するとともに、自ら学びに向かう力を育成できる。</p> <p>⑤基礎的な知識や技能を確実に習得し、それらの知識や技能を目的や場面、状況に応じて活用できる力を、繰り返し段階的に育成できる教科書構成になっている。</p> <p>⑥英語を「聞くこと」や「読むこと」を通じて得た情報などを基にして、様々な場面に応じて適切に「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」ができ、あわせて論理的思考力や批判的思考力が養える。また、そうしたコミュニケーション活動や体験を通して、他を受け入れ、個人の価値を尊重することのできる豊かな心を育成し、自分の考えや自分たちの文化を外に発信していける力を培える内容である。</p> <p>⑦学んだ内容の深化・発展に弾力的に取り組めるように、設問や活動などが工夫され、充実している。</p>
2. 構成・分量	<p>①カリキュラムと分量</p> <p>教材の精選をはかり、カリキュラムにゆとりがある。</p> <p>②題材内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話す[やり取り]」「話す[発表]」「書く」ためのテーマとして、ことばの教育、国際理解教育（異文化理解教育）、人間教育の観点を基本とし、これらの領域で生徒の知性や感性を考慮して、興味を喚起する内容になっている。 ・テーマは、言語、日本文化、芸術、科学・技術、環境問題、人物、社会問題、外国文化、人間としての生き方、文学など多様な内容である。なお、「話す[やり取り]」「話す[発表]」「書く」ための形式は、会話、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、また発表のための原稿作成などが基本になっている。 ・テーマの設定や登場人物は、英語が広く使われている現状と国際理解との関係から日本を中心に、

『CROWN English Logic and Expression I』(15 三省堂 論 I 704) —検討の観点と内容の特色

	<p>主に英米を中心とした英語圏諸国の英語話者にし、特に高校生が実際に「話す[やり取り]」「話す[発表]」「書く」という状況を重視して、より現実と遊離しない状況が設定されている。</p> <p>③言語材料の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語材料は、活発で多様な言語活動を展開することができる。 ・「文構造」「文法事項」は表現活動に活用することを基本として精選され、「話す[やり取り]」「話す[発表]」「書く」上で必要と思われる基本的な事項であるとともに、より運用度が高いものが扱われている。 ・本書の導入部として GET READY! を設けられ、中学校における基本項目が確認でき、本課に負担なく移行ができる。 ・「語」は、英語コミュニケーション I 程度の範囲で、表現活動に必要と思われる語彙・連語が精選されている。 ・「音声」については、標準的な米音を基本としている。 <p>④言語活動</p> <p>言語活動は、「話す」「書く」必然性を重視し、「言語の使用場面」を具体的に提示すると共に、4技能の統合的な関連が図れるように、各 Lesson の Going Deeper の対話文や Share Your Ideas、各 Project のスピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート、ライティングなどにおいて形式が工夫されている。また、「言語の働き」にも留意し、「話す」「書く」上で多用される表現についても、中学校までの学習を踏まえながら、基本的なものを精選し、系統的に扱われている。</p>
<p>3. 表記・表現、及び指導上の工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●挿絵や図版を適所に配置することで、生徒の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えている。 ●用語・記号は統一しており、生徒が理解しやすい記述になっている。 ●注釈は分量・内容とも適切である。また、平易な表現で記述されており、生徒の理解を助けるものとなっている。 ●授業を支援する教師用指導書や教材、ICT ツールなどが充実している。教科書には学習をサポートする二次元コードがある。指導しやすく学習しやすい教科書である。
<p>4. ユニバーサルデザイン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育ならびにカラーユニバーサルデザイン (CUD) の専門家の知見を参考に、ユニバーサルデザイン (UD) に配慮し、誰もが使いやすい教科書となるよう工夫している。 ●CUD への対応は、色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色にしている。識別しにくい配色は避け、色だけの違いに頼らず、形の違いや、記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設け、色の濃淡や罫線の使い分けなどで違いが明確になるように配慮している。
<p>5. 印刷・造本などの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●活字・写真・挿絵は鮮明で、かつレイアウトも工夫されており、学習に取り組みやすい教科書となっている。 ●教科書用紙は、環境の保護や資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用している。 ●印刷に使用しているインキは、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油のものを使用している。 ●製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。また、ページの開きがよく、読みやすい製本方式を用いている。
<p>【総合所見】</p> <p>生徒の学びに向かう力を引き出す明解かつ多様な教材が採録されており、学習過程や学習内容が明確で、言語活動の充実などが図られ、質的ならびに分量も適切である。英語学習の特質を踏まえ、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの3領域別に設定する目標の実現に向けた指導ができる。身につけた知識・技能を活用して、思考力・判断力・表現力等の育成に資する工夫を随所に施され、主体的・対話的で深い学びができる。上記の観点より、科目『論理・表現 I』に最も適した教科書である。</p>	